令和7年第1回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和7年1月27日 (月曜日)		開会	9:55	会議場所	別海町議会 委員会室2			
			閉会	11:08					
委員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	2 番	吉田 和行	出席	8 番	田村 秀男	出席
	14 番	佐藤 初雄	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
出席説明員	総務部長		総務部次長兼総務課長		総合政策課長		情報広報課長		
	伊藤 輝幸	出席	寺尾真太郎	出席	松本 博史	出席	山田 哲哉	欠席	
	財政課長		税務課長		防災・基地対策課長		尾岱沼支所長		
	角川 具哉	出席	松田 勝広	出席	岩口 裕昭	出席	大坂 恒夫	出席	
	西春別支所長		総務課主幹		総務課主幹		総合政策課主幹		
	小村 茂	出席	佐藤 亮	欠席	武田 聖士	欠席	佐藤 貴也	出席	
	防災・基地対策課防災監		防災・基地対策課主幹		防災・基地対策課主幹		税務課主幹		
	三瓶 秀憲	欠席	深川 淳一	欠席	橋本 達也	欠席	武田 妙子	欠席	
	広報情報課主幹		防災・基地対策課主幹		財政課主査		財政課主査		
	伊藤 武史	欠席	寺澤 淳司	出席	高橋 克彦	出席	浦部 裕美子	欠席	
	総合政策課主査		総合政策課主査		税務課主査				
	人羅 茜	出席	大西 廣和	出席	竹本 誠	欠席			
	選挙管理委員会		書記						
	書記長		書記						
	寺尾真太郎	出席	佐藤 亮	欠席					
	別海消防署		別海消防署副署長		別海消防署副署長兼予防課長		別海消防署警防課長		
	山田 勝人	欠席	山桑 貴光	欠席	西塚 隆幸	欠席	太田 裕司	欠席	
	教育部長		生涯学習センター長兼中央公民館長		指導主幹		指導参事		
	宮本 栄一	出席	福原 義人	出席	稲村 和典	欠席	瀬川 航平	欠席	
	学務・スポーツ課長		学校教育課長兼学校給食センター長		生涯学習課長		西公民館長		
	斎藤 陽	出席	池田 卓也	出席	木戸口 誠	出席	小村 茂	出席	
	東公民館長		図書館長・郷土資料館長他		学務・スポーツ課主幹		学務・スポーツ課主幹		
	大坂 恒夫	出席	堺 啓	欠席	高津 寛人	出席	立澤 雅彦	出席	
	生涯学習課主幹		学校給食センター主幹		中央公民館副館長		西公民館副館長		
	恒川 敦史	欠席	平下 奈津子	欠席	今野 学	欠席	佐藤 政士	欠席	
	東公民館副館長		郷土資料館副館長		郷土資料館主幹		学務・スポーツ課主査		
	福原 仁史	欠席	石渡 一人	欠席	戸田 博史	欠席	武田 文吉	出席	
	学校教育課主査		学校教育課主査		図書館主査				
戸野 晶雄	欠席	高橋 美香	欠席	吉田 美奈子	欠席				
委員外の出席	議長	西原 浩				合計	1名		
事務局職員	局長	干場 富夫				合計	1名		
傍聴者数	一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

令和7年第1回総務文教常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 14番 佐藤	09:55 開会 出席委員5名、欠席委員0名、委員外1名、会期1日 挨拶 【総務部所管事務調査】
総務部長 伊藤	挨拶及び概要説明 ・本日の所管事務調査は、「総合的な防災対策について」を説明する。 ・その他として、「別海町各種基金の債券運用について」、「別海町ふるさと応援制度」寄附の現況について」を説明する。 ・新たに地域おこし協力隊員として着任した3名を紹介する。 <隊員紹介（関寺隊員・井瀬隊員・鳴川隊員）・隊員挨拶・隊員退席>
委員長 14番 佐藤	09:59 暫時休憩
委員長 14番 佐藤	10:00 再開
委員長 14番 佐藤	議事1 所管事務調査について (1) 総合的な防災対策について
防災・基地対策課主幹 寺澤	・資料により説明（本別海地域防災センター改修計画について）
委員長 14番 佐藤	質疑
副委員長 8番 田村	・今回の件は、座標の誤りを受けて、業務委託対応し報告させた流れなのか伺う。また、座標の誤りの原因を伺う。加えて、走古丹地域防災センターや野付半島災害時避難施設に同じ誤りはなかったか伺う。それと、津波荷重耐力評価は、本別海地域防災センターのみだったのか伺う。また、施設の構造や工法で何がなぜ違っていたのかお聞きする。
防災・基地対策課主幹 寺澤	・1点目の報告内容については、日本都市設計に業務委託し評価をした。座標の誤りの原因は、本施設の隣にある本別海地域センターの座標を、防災センターの座標と誤っていたことによる。走古丹地域防災センターについては、座標の誤りがないことを確認している。走古丹地域防災センターは平成24年度に耐力度調査を実施しており、当時の津波の高さ3.1mに対して、津波には構造上十分な耐力を有しているとの結果が出ている。また、走古丹地域防災センターの現時点の津波の基準水位は0.85mとなっており、当時の評価時の3.1mを下回っていることから、津波に対して安全性が確保されている施設である。本別海地域防災センターの基準水位の高さは、元々認識していた基準は2.35mで、この数値が誤っており、正確な基準水位は3.0mとなる。ピロティの高さが2.6mあり、その差の40 c mの部分に津波が当たり壊れる可能性があることから、ピロティ部の天井を上げる提案を受けている。
副委員長 8番 田村	・天井を上げることについて再度詳しく説明を願う。
防災・基地対策課主幹 寺澤	・考え方として、ピロティの高さ2.6mを基準とし、現在の床面の高さは3.6mで基準水位の3.0mを上回っていることから、津波があっても水につからない。ただ、基準水位の3.0mは、ピロティの高さの2.6mを上回っていることから、ピロティの高さを40 c m上げる改修の提案を受けている。
委員 2番 吉田	・現在の床面の高さが3.6mで、水位の高さが3mなので、ピロティ部分の天井をぎりぎりの3mまで上げる理解で良いか。
防災・基地対策課主幹 寺澤	・そのとおり。
委員 1番 市川	・ピロティの高さを40 c m上げても、構造上は問題ないか。
防災・基地対策課主幹 寺澤	・構造上問題はない。
防災・基地対策課長 岩口	・本件については、地元町内会とも協議させていただき、令和7年度に実施設計、令和8年度に改修を進めたい。
委員 1番 市川	・施設は、平成21年に建築してから座標の誤りの確認はとれなく、現在に至った経緯か。
防災・基地対策課長 岩口	・平成21年の建設時点では、平成17年に北海道から公表された「津波浸水エリア」を使用した。24年に想定指針が変わっていて、当時その指針と照らし合わせた際には問題はなかった。その後、令和5年度に北海道から津波避難施設の耐力度調査の指示があ

令和7年第1回総務文教常任委員会 要点記録

	り、調査した際に座標の誤りが発覚した経緯となる。
委員長 14番 佐藤	・ほかに何かあるか。
委員 一同	・なし。
委員長 14番 佐藤	議事2 その他
委員長 14番 佐藤	(1) 別海町各種基金の債券運用について
財政課主査 高橋	・資料により説明
委員長 14番 佐藤	確認事項
副委員長 8番 田村	・財政当局の考え方として、一般会計の資金不足に対して、基金は歳計現金の繰替運用が可能なので、資金不足も考えた上での要綱になっているか伺う。
財政課長 角川	・前年度に繰替運用に関する規定を策定し、資金不足の際に一時借入をしないで行けるようになった。今回提案させていただいた債券の運用に関するものについては、一定の運用の余地があるものは、安全性が見込まれる国債・北海道債などは利率が高いので、運用しながら少しでも基金を有利に増やしていきたい。
委員長 14番 佐藤	・ほかに何かあるか。
委員 一同	・なし。
委員長 14番 佐藤	(2) 「別海町ふるさと応援制度」寄附の現況について
総合政策課主査 人羅	・資料により説明
委員長 14番 佐藤	確認事項
副委員長 8番 田村	・寄附額も伸びているので、委員会への報告や情報共有をもっと受けたいと思う。
総務部長 伊藤	・これまで数回報告させていただいたが、情報共有について努めていきたい。
委員長 14番 佐藤	・ほかに何かあるか。
委員 一同	・なし。
委員長 14番 佐藤	挨拶
委員長 14番 佐藤	総務部 10:40 終了 休憩
委員長 14番 佐藤	10:49 再開 委員長挨拶
	【教育委員会所管事務調査】
教育部長 宮本	挨拶及び概要説明
	・本日の所管事務調査は「小中一貫教育及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について」のうち、「義務教育学校基本構想の進捗について」の1件で、その他は「教職員の不祥事に係る対応について」、「ワールドカップスケート大会」、「全道中体連スケート大会の結果について」、それと、本日「別海高等学校の出願状況」が発表されたので報告させていただく。
委員長 14番 佐藤	議事1 所管事務調査について
	(2) 小中一貫教育及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について
学務・スポーツ課主査 武田	・義務教育学校建設基本構想策定に係る進捗状況について、令和6年12月12日開催の令和6年第10回総務文教常任委員会以降の経過をお伝えさせていただく。前回の常任委員会で説明した内容から大きくアップデートはされていないが、細かな打合せを重ねてきたので話をさせていただく。令和6年12月18日に基本構想策定に向けて教育委員会内の関係部署で打合せを行った。内容は教育委員会としての方針について改めて協議し合意形成が図られた。令和6年12月27日に教育委員会内関係部署打合せを行い、基本構想内で学校の規模を設定するに当たり、必要な生徒数の推計、教職員数、必要教室、教室数についてまとめた。年明けの1月10日に教育委員会内打合せを行い、各種データが集約されつつあるため、最終調整に向けて基本構想の構成、サブアリーナの必要可否、アリーナ・サブアリーナの規模、町内施設との重複を考慮した地域開放範囲について協議・検討した。1月20日に基本構想策定業務受託業者である日本技建と打合せを行い、これまで教育委員会内部で検討してきた内容を伝えた上で、基本構想の構成や今後の必要検討項目の洗い出しを行った。最後に、基本構想策定に向けた今後のスケジュールとして、2月中旬を目処にたたき台を完成させ、庁舎内検討委員会で内容を確認後、理事者説明までを2月中に行い、3月の常任委員会で説明

令和7年第1回総務文教常任委員会 要点記録

	し、3月末完成予定としている。
委員長 14番 佐藤	質疑
副委員長 8番 田村	・別海中央小学校は、大規模改修ということで基本構想を令和5年に策定している。その1年後に義務教育学校の基本構想を策定することとなった。3月までに結論を出すとしているが、今頃に生徒数や規模を決めるのは、時期を含め進め方に問題はなかったか伺う。
学務・スポーツ課長 齋藤	・将来を見越しての規模や推計など不確定なところも多々あり、その中で建設年度も含めて検討している。生徒数の見込みなどは以前から調査しており、今回改めて基本構想策定のために日本技建に資料を提出するためこの時期となった。
副委員長 8番 田村	・発注した時期を伺う。
学務・スポーツ課主査 武田	・6月の入札で決定している。
副委員長 8番 田村	・進み方が遅い気がする。
委員 1番 市川	・基本構想を策定する上で、間取り等も含まれるか伺う。
学務・スポーツ課主査 武田	・間取り等の内容は、基本設計や実施設計など工事に近い段階での計画となる。
委員長 14番 佐藤	・ほかに何かあるか。
委員 一同	・なし。
委員長 14番 佐藤	議事2 その他
教育部長 宮本	(3) 教職員の不祥事に係る対応について ・12月19日木曜日に、北海道教育委員会ホームページに不祥事の内容が公表され、処分内容は停職1ヶ月で、12月20日付けをもって本人は退職した。公表内容は、12月21日の土曜日に、その内容の写しを委員（議員）の皆様へ配付したところ。 12月19日木曜日に議長・副議長・常任委員長・副委員長・宮越議員・伊勢議員・教育委員に公表内容を電話連絡した。同日、午後から野付中学校教職員に不祥事に係る状況説明及び本人が退職する旨を報告した。同日、教職員へ説明後に、PTA会長に不祥事に係る状況説明及び本人が退職する旨の報告をした。12月20日金曜日の午前に臨時校長会議を招集し、教育長の訓話の中で不祥事に係る状況説明とコンプライアンスについて、徹底する旨を説明した。12月21日土曜日の午後から、野付中学校において保護者説明会を開催し、教育長から状況説明及び今後の対応について説明した。12月23日月曜日の全校集会の中で、教頭から状況報告及び瀬川指導参事からは、本日から3日間の日程で、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置する旨など説明をした。また、スクールカウンセラーから子供たちに対し、アンケート調査や面談を実施しているところ。後任の人事については、12月25日水曜日に内示、1月14日火曜日に辞令交付があり、野付中学校長に、別海中央中学校の小森和則教頭が着任し、別海中央中学校教頭に計根別学園の若尾忍教頭が着任した。
委員長 14番 佐藤	確認事項
委員 一同	・なし。
委員長 14番 佐藤	(4) ワールドカップについて及び (5) 全道中体連スケート大会の結果について
学務・スポーツ課主幹 立澤	・本町出身のスピードスケート選手の活躍について、まずは、スピードスケートワールドカップの結果について報告する。1月24日から昨日までワールドカップ第3戦が、カナダのカルガリーで開催され、本町出身の新濱立也選手、森重航選手、野々村太陽選手、森野太陽選手の4名が出場し、新濱選手が500mで9位、1,000mで7位、森重選手が500mで10位、野々村選手が1,000mで13位、1,500mで9位、森野選手が10,000mで19位の結果となった。次戦ワールドカップ第4戦は、1月31日からアメリカミルウォーキーにおいて開催される予定。 ・続いて、1月10日から12日に苫小牧市で行われた、第55回北海道中学校スピードスケート競技大会の結果についてご報告する。本町在住の14名の生徒が出場した。各種目24位以内に入った選手が2月1日から長野市Mウェーブで開催される全国大会に出場することになるが、今回は別海ライジングスピードスケート少年団所属の7名が全国大会への出場を決めている。

令和7年第1回総務文教常任委員会 要点記録

委員長	14番	佐藤	確認事項
委員		一同	・なし。
委員長	14番	佐藤	(6) 別海高等学校の出願状況について
教育部長		宮本	・別海高等学校普通科は一般出願者数は91名で、酪農経営科は一般出願者が3名で、推薦出願者が1名の合計4名となっている。
委員長	14番	佐藤	確認事項
委員		一同	・なし。
委員長	14番	佐藤	閉会挨拶
委員長	14番	佐藤	11:08 閉会